



大学通り



国立市

東京都では狛江市に続いて2番目に面積が小さい市。国分寺と立川の間に立地することや、「この地から新たな国が立つ」という願いから「国立」という地名が誕生したとされます。

学生を育む環境と景観を守り、理想の文教都市を形成するまちづくりを推進しています。

国立駅南口から南に延びる大学通りは、桜の名所として有名。



くにたちStyle



くにたち野菜

「くにたちらしい」地域イメージをいかした、くにたち発の商品・製品・サービス等を、地域ブランド「くにたちStyle」として認定しています。

また、ほうれん草や小松菜、トマト、なすなどの「くにたち野菜」を味わうことができます。

国立市の先進的・特徴的な取組 (国立駅南口子育て・子育て応援テラスの整備)



〔子育て子育て応援テラスイメージ〕

国立駅周辺に子育て支援施設を設置し、子どもの主体的な成長を育むとともに、幼児教育及び子育て支援の環境の向上を図ることで、子ども及び子育てにやさしいまちづくりを推進しています(2025年7月開設予定)。



くにたち未来共創拠点
「矢川プラス」



旧国立駅舎



くにたち郷土文化館



谷保(やば)天満宮

